

競技注意事項

本競技会は、2009年度日本陸上競技規則及び本競技会の申し合わせ事項により行う。

1 召集について

トラック競技は競技開始時刻15分前（中学男女100mの9組以降は競技開始時刻）、フィールド競技は競技開始30分前に100mスタート地点後方で行う。おくれた場合は棄権とみなす。

2 ナンバーカードについて

- ①ナンバーカード及び安全ピンは主催者が用意する。ナンバーカードは支給されたままの大きさを胸と背に四隅をきちんとつける。走高跳、棒高跳に出場する際は胸か背のどちらかでよい。競技終了後各チーム番号順にそろえ、ピンとともに速やかに受付に返却する。その際、ピンはナンバーカードに付けない。
- ②トラック競技の腰ナンバーカードは召集所で渡す。ランニングパンツ右やや後ろにつける。レース後、フィニッシュ付近のカゴの中に入れる。

3 用器具について

競技に使用する器具は、棒高跳のポールを除き主催者が用意したものに限る。

4 競技について

- ①トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の上から下の順とする。短距離種目では棄権者があってもそのレーンをつめない。
- ②トラック競技の短距離種目では競技者の安全のため、フィニッシュ後も自分のレーン（曲走路）にそって走る。
- ③国体成年種目の男女200m、男子110mH、女子100mH、男女400mHはそれぞれ2回ずつ競技を行う。
- ④中学男女600mのスタートはレーンを使用しない。中学男女1000m、中学男子2000mはグループスタートとする。
- ⑤一般男女5000m競歩は、競技運営上男女同時スタートとし、35分で競技を打ち切る。
- ⑤走高跳、棒高跳のバーの上げ方はフィールド審判長が決定する。
- ⑥フィールド競技（走高跳、棒高跳を除く）は全員3回の試技を行い、その後上位8名が3回試技を行う。

5 その他

- ①競技中の事故については、主催者によって応急処置をするが、それ以後の責任は負わない。
- ②記録証は1部300円で発行する。希望者は大会本部に申し出る。

グランドコンディション

時刻	天候	気温℃	湿度%	風向	風速m/s	気圧
10:00						
11:00						
12:00						
13:00						
14:00						
15:00						
16:00						